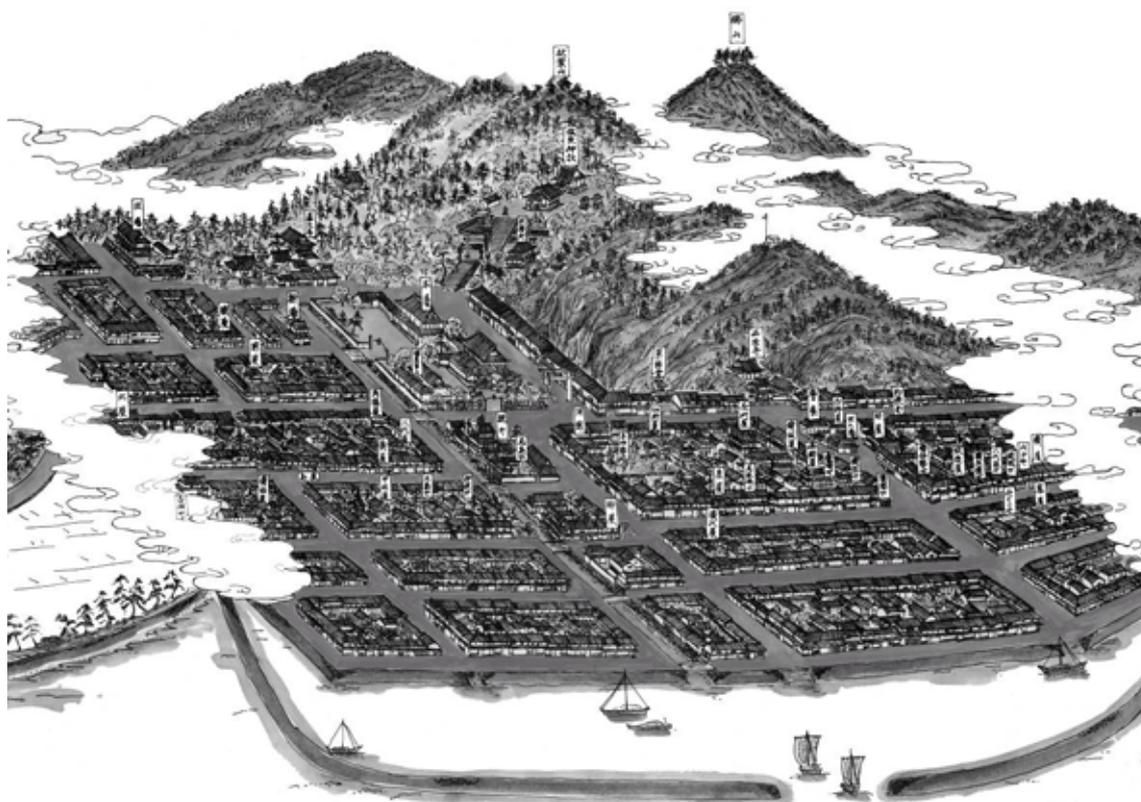


# 日奈久まちづくり羅針盤

- 歴史の香り漂うまちづくりに向けて -



日奈久地域活性化検討委員会

平成18年5月

## はじめに

日奈久地域は、観光客のニーズの変化や近隣町村における近代的な温泉施設の新設などにより、入込み客数が大幅に減少するなど、日奈久地域を取り巻く環境は、益々厳しくなっている。

しかし、日奈久地域は、本市の観光の中核であり、日奈久地域再生のため、ひいては市全体の活性化のためにも、伝統ある温泉や歴史的建造物などの観光資源を活用した施策を早急に検討し、実行していく必要がある。

そこで、本委員会は、日奈久地域の活性化のため、これまでの計画に新たな視点を加え、実現可能な具体的な方策を見出し、順次、実施に移していくことを目的として検討を行ってきたところである。

しかし、その検討過程において大きな疑問となったのが、「日奈久地域の住民は自分達の街を将来どうしたいのか」ということであった。

このようなことから、本報告書は、日奈久の住民が自分達の街の将来を検討する上での叩き台として活用いただけるよう、つまり日奈久のまちづくりの羅針盤として活用いただけるようにまとめたものである。

本報告書の中で、日奈久地域の活性化策として提案している事業は、ソフト事業など住民が主体性を持てば直ぐにでも実施できるものが多くある。

よって、各事業の実施については、「事業主体」が率先して実施することが前提となる。

日奈久地域の活性化は、住民が自ら考え、お互いに協力し活動していくことが大前提であり、活性化の第一歩であると考ええる。この前提条件が実行されない限り、行政が事業主体となりハード事業を実施しても、日奈久の活性化に繋がるものではないと考える。行政は、住民との連携を図るための仕組みづくりについて積極的に関与し、地域住民は、地域以外からの考え方や次代を担う若い世代の意見を取り入れながら、活性化に向けた行動を実践することが必要である。

最後に、本委員会は、日奈久住民の自発的な活動を願い、また本報告書がその活動の羅針盤として活用いただき、日奈久地域がかつての賑わいを取りもどすことを願って止まない。「甦れ、湯のまち日奈久」

平成18年5月  
日奈久地域活性化検討委員会

## 目 次

1、日奈久地域の現状	1
2、日奈久地域活性化検討委員会の経過	2
(1) 目的	
(2) 検討方法	
(3) 委員構成	
(4) 検討記録	
3、日奈久地域の将来ビジョン	3
4、日奈久地域活性化事業(案)の基本的な考え方	4
(1) 活性化事業(案)の体系	
(2) 目標時期	
(3) 事業主体	
5、活性化事業(案)の実施に向けた取組み	6
6、活性化事業(案)の具体的な取組み	7
(1) ハード事業	
(2) ソフト事業	
(3) その他事業	
7、日奈久地域活性化事業(案)配置図/ハード事業等	21
8、日奈久地域活性化事業(案)一覧表	22
(1) ハード事業	
(2) ソフト事業	
(3) その他事業	
9、日奈久地域活性化優先実施事業(案)一覧表	25
(1) ハード事業	
(2) ソフト事業	
(3) その他事業	

## 1、日奈久地域の現状

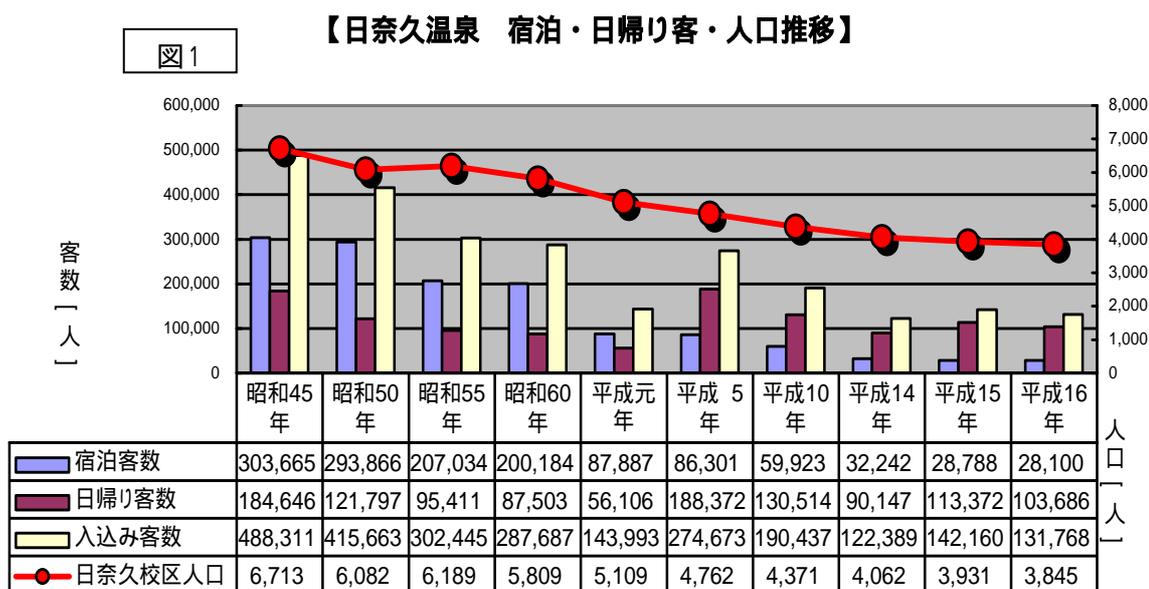
日奈久地域は、古くから温泉と農林業、漁業が共存した地域として栄えてきた。特に中心である日奈久温泉は、約600年前の1409年に浜田六郎左衛門により発見されたとされている。当時は、1ヶ所の共同浴場という状況であったが、入浴客等の増加に伴い、幾つもの内湯を持った旅館が建ち、旅館街が形成され活況に満ち溢れることとなった。しかし、昭和45年頃をピークに宿泊客は減少し続け、平成16年の調査では28,100人まで落込んでおり、日帰り客についても昭和45年頃をピークに増減はあるものの、平成16年の調査では103,686人にまで減少している。(図1)

以前の状況は、温泉地間の競争が少なかったこともあり、何も策を講じなくても賑わっていた。

昭和50年くらいから、県内においても新たな温泉発掘が行われ、建物の近代化や露天風呂などの施設の充実など、温泉地間の競争が激しくなってきた。

また、旅行形態も団体旅行から家族旅行や友達旅行へ、見学型から体験型へなど観光客のニーズの変化が生じたことで、様々な取組みがなされてきたが、減少に歯止めはかかっていない。

さらに、温泉街の衰退とともに、日奈久校区全体の人口も昭和45年頃をピークに減少し続け、平成16年の調査では3,845人に止まっている。



出典：市商政観光課「熊本県観光統計表」等

## 2、日奈久地域活性化検討委員会の経過

### (1) 目的

日奈久地域の活性化については、日奈久温泉街を中心として、これまで何度も検討されてきたが、実効性の問題や財政的な面から実施に向けての環境が整わず、実現できなかった計画が多くある。

さらに、観光客のニーズの変化や近隣町村における近代的な温泉施設の新設など日奈久地域を取り巻く環境は、益々厳しくなる一方である。

しかし、日奈久地域は、本市において重要な観光の拠点と位置づけており、日奈久地域の活性化は、重要な課題である。

そこで、本委員会は、平成9年に「日奈久開発研究委員会」がまとめた報告書「よみがえれ 湯のまち 日奈久」の提案をもとに新たな視点を加え、実現可能な具体的な方策を見出し、順次、実施に移していくことを目的として設置したものである。

### (2) 検討方法

接客サービスの向上や温泉街のイメージアップ、さらに地域全体でのさまざまな取り組みなどソフト面について検討し、その後、街並みやシンボル創りなどハード面について検討を行った。

日奈久埋立地の土地利用については、現在、ウインズ日奈久計画がひとつの有効な計画であるが、本委員会ではウインズ日奈久が進出する又はしないにかかわらず検討を行った。

### (3) 委員構成

本委員会は、地元団体と行政だけでなく、現在の日奈久地域の社会的環境等を勘案し、地元でまちづくりを実践している団体、地元団体、有識者及び公募による委員等により構成した。

### (4) 検討記録

会 議	日 程	主 な 議 事
第1回委員会	平成16年8月 2日	日奈久地域開発関係の経緯説明 日奈久地域活性化検討委員会の概要説明 委員会の方向性の検討
第2回委員会	9月16日	委員会の方向性の検討 ソフト事業メニューの検討
第3回委員会	10月29日	現地調査を受けての意見交換 ソフト事業メニューの検討

会 議	日 程	主 な 議 事
第4回委員会	平成17年1月13日	ソフト事業メニューの絞込み
第5回委員会	2月18日	中間報告書(ソフト事業)(案)について ハード事業メニューの検討
第6回委員会	3月17日	同 上
第7回委員会	4月28日	ハード事業メニューの検討
第8回委員会	5月30日	同 上
第9回委員会	6月23日	同 上
第10回委員会	7月25日	同 上
第11回委員会	8月31日	ハード事業及びソフト事業の絞込み 最終報告書(骨子)について
第12回委員会	平成18年5月22日	最終報告書(案)について

### 3、日奈久地域の将来ビジョン

九州新幹線全線開業(平成23年頃)や日奈久温泉開湯600年(平成21年)を間近に控え、低迷する日奈久温泉街を中心とする当地域を活性化するためには、地域住民自らが地域のことを考え、それぞれが連携しながらまちづくりを進めていく必要がある。

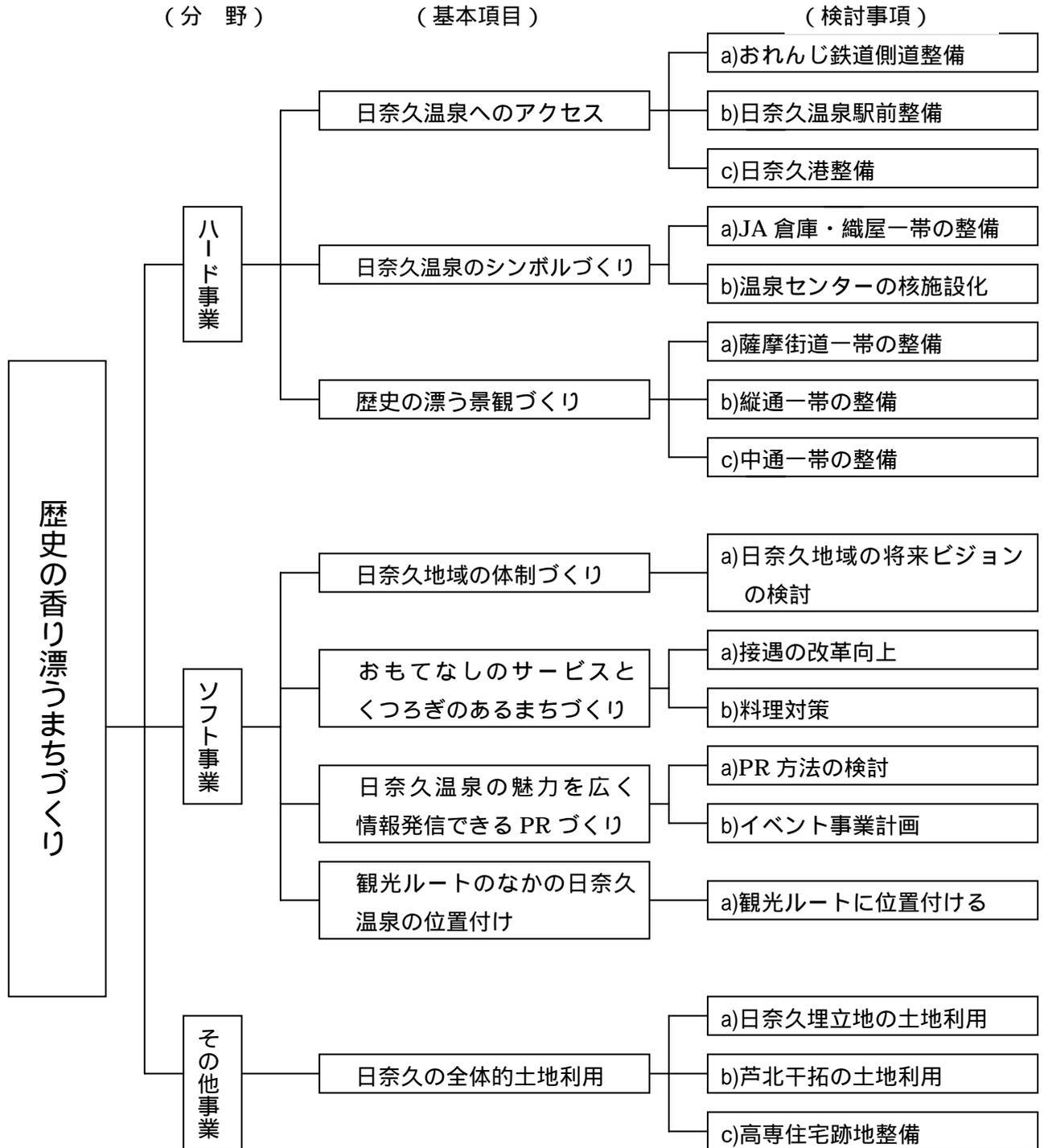
そのためには、まず、今後の日奈久地域のビジョンやまちづくりの方向性が重要であり、さらに、それに対する住民のコンセンサスを得ることが、活性化へ向けた取組みの第一歩であると考えます。

本委員会は、これまでの検討内容から「地域住民が、日奈久の歴史を重んじ、守るべきものを守りながら、新しい事業や日奈久地域以外からの人や考え方を積極的に受け入れていかなければならない。」と考え、日奈久地域の将来ビジョンづくりに向けて、「**歴史の香り漂うまちづくり**」を提案する。

#### 4、日奈久地域活性化事業(案)の基本的な考え方

##### (1) 活性化事業(案)の体系

活性化事業(案)については、平成9年報告書「よみがえれ 湯のまち日奈久」の日奈久地域における整備の基本的な考え方をもとに、「ハード事業」、「ソフト事業」、「その他」の3つの分野で構成し整理する。



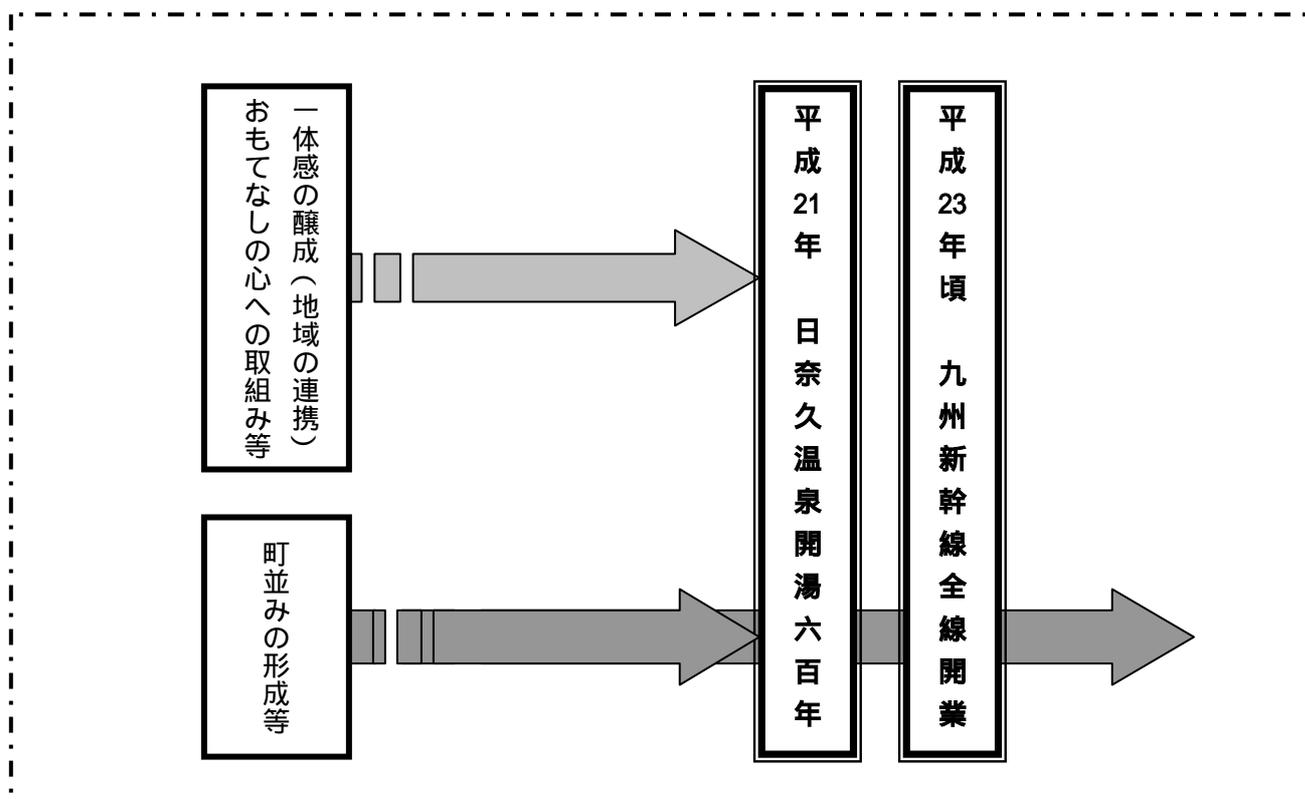
## (2) 目標時期

各事業メニューについては、目標とする時期に向かって事業を進める。

「短期」の事業とは、1409年に日奈久温泉が発見されてから600年の節目を迎える時期（平成21年）や九州新幹線全線開業予定時期（平成23年頃）の事業完了を目指して取り組む必要がある事業である。

「中長期」の事業とは、日奈久温泉開湯600年（平成21年）や九州新幹線全線開業（平成23年頃）以降の事業完了を目指して取り組む必要がある事業である。

### 目標時期イメージ



## (3) 事業主体

活性化事業(案)については、本委員会の検討結果としてまとめるが、各事業メニューの実施については、住民、地元各団体、民間事業者及び行政が連携して取り組むことが必要である。

ハード事業については、事業実施の候補団体として「事業主体」、整備後の利活用の候補団体を「活用候補主体」として示している。

ソフト事業については、事業実施の候補団体として「事業主体」、連携すべき関係団体として「連携先」として示している。

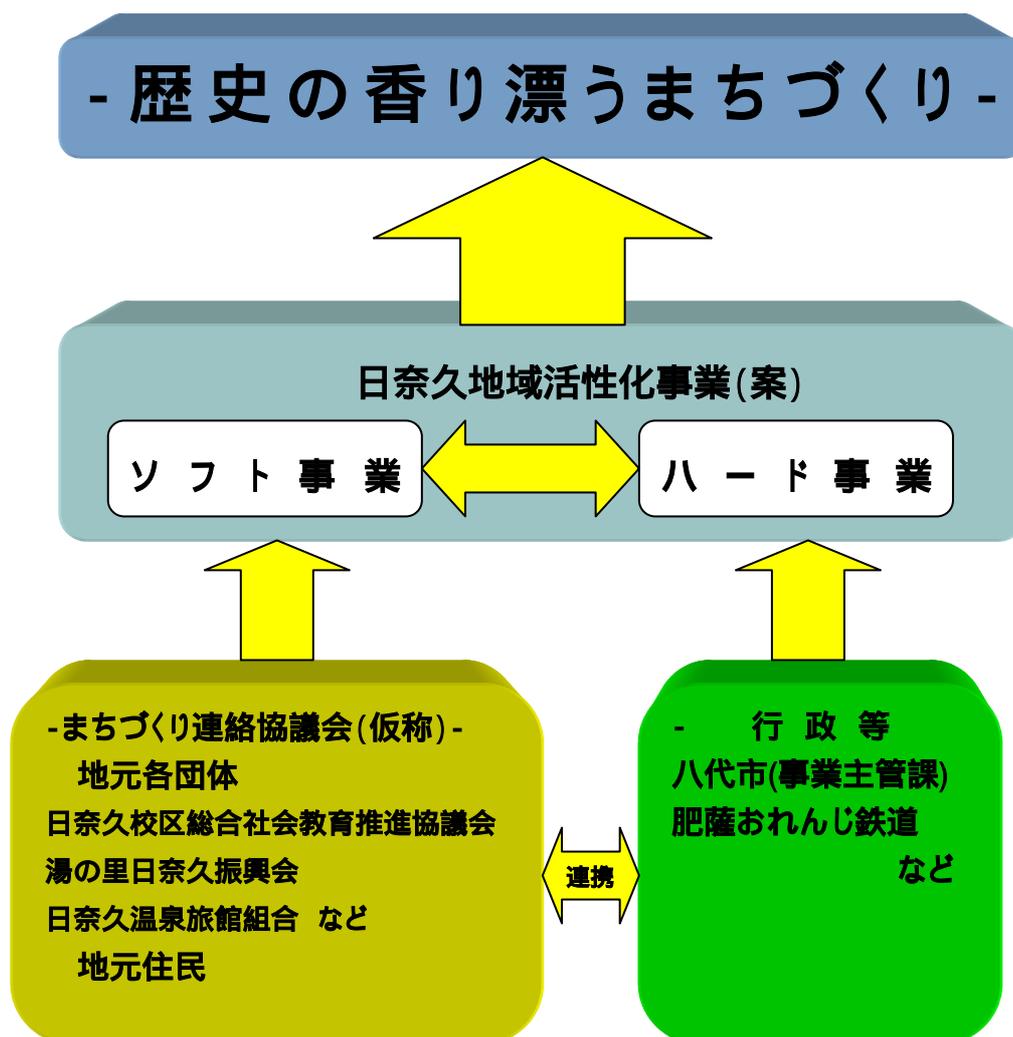
## 5、活性化事業(案)の実施に向けた取組み

本委員会で提案する日奈久地域活性化事業(案)は、これまでも幾度となく検討されてきたものが多くある。では、なぜ改めて、これまで実施されなかった事業を提案するのか。それは、住民や地元各団体及び行政が連携すれば、すぐにでも実施できる事業が多くあり、日奈久地域の活性化のためには必要不可欠な事業であると判断したからである。

よって、各活性化事業(案)を順次実施していくために、本委員会では、事業実施の候補団体として「事業主体」、整備後の利活用の候補団体を「活用候補主体」、連携すべき関係団体として「連携先」を明確にし、また、事業完了の目標時期も明確にしている。

このようなことから、行政は、地元各団体と連携して、地元住民に対して本報告書内容の周知を早急を実施する必要がある。また、地元住民のコンセンサスを得た将来ビジョンのもと、各事業主体によって事業が実施されるように、チェック機能としての進行管理の役割を担う必要がある。

### 取組みイメージ図



## 6、活性化事業(案)の具体的な取組み

### (1) ハード事業

ハード事業の実施にあたっては、基本構想及び基本設計の策定段階から管理運営方法の検討まで、「事業主体」と「活用候補主体」が、互いに連携を図りながら取り組む必要がある。

なお、優先すべき事業については、日奈久地域の意向や事業主体の財源確保の観点から取捨選択する必要がある。

( P 2 1 「日奈久地域活性化事業(案)配置図 / ハード事業等」参照 )

#### 日奈久温泉へのアクセス

##### a) おれんじ鉄道側道整備

観光客等が日奈久温泉駅から温泉街へ歩いていく場合、国道3号沿いを通って行くことになるが、国道3号は大型車等の交通量も多いため危険である。よって、現在、日奈久温泉駅から県道田上日奈久線の踏切(多々良踏切)までの線路沿い(約240m)に、自歩道として整備できる部分があることから整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、人力車や馬車等を運行することで、日奈久地域のイメージアップを図り誘客に繋げることができる。

活用候補主体 / 湯の里日奈久振興会

#### 現況(肥薩おれんじ鉄道)



#### 整備イメージ: 自転車歩行者道



b) 日奈久温泉駅前整備

日奈久温泉駅は、JR時代の鹿児島本線開通当時のオリジナルの駅の部分が残っている歴史的価値のある駅舎であるため、レトロ感を出した当時の姿で整備を行い活用を図る。また、駅前広場については、イベント会場やコミュニティ広場としての活用が多いことから、トイレの改修を第一に行う。

事業主体 / 肥薩おれんじ鉄道・八代市(企画調整課)

日奈久温泉駅は、日奈久地域観光の玄関口でもあるので、駅舎内に観光案内所の整備を行う。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、駅前をイベント広場として、また駅舎を喫茶・休憩所やインフォメーションセンターとして活用することができる。

活用候補主体 / NPO法人ネット八代

現況(日奈久温泉駅前広場)



整備イメージ:開業当時の外観を基準とする  
参照(京都府嵯峨嵐山駅)



### c) 日奈久港整備

日奈久港の整備については、天草地域からの海上アクセスの確保という観点から、旅客船等の運航可能な港として活用できるような整備や温泉街へのアクセスとしての散策道の整備を行い活用を図る。

事業主体

／八代市(土木建設課)

活用案としては、観光漁業の発着となる観光港としての活用や海産物等の販売拠点として活用ができる。

活用候補主体

／湯の里日奈久振興会

整備イメージ(日奈久港)



### 日奈久温泉のシンボルづくり

#### a) J A 倉庫・織屋一帯の整備

##### ) J A 倉庫の整備

J A 倉庫については、古くは米券倉庫として利用されており、歴史的に価値があるので、修復し活用を図ることとなるが、課題として、修復後の活用方法を明確にした上で、整備を行わなければならない。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、展示場、ギャラリー、資料館、物産館、レストラン、多目的ホール等多くの意見が出されているが、日奈久地域観光の拠点として、織屋と一体的な活用を行う必要がある。

活用候補主体 / 湯の里日奈久振興会

現況(JA 倉庫)



整備イメージ:物産館など

参照(大分県豊後高田市昭和ロマン蔵)



) 織屋の整備

織屋は、俳人種田山頭火が泊まった宿として、当時のままの姿で残っており、歴史的に貴重である。よって、国道3号からの入口の整備も含め、JA 倉庫と一体的な保存整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

山頭火由来の観光スポットとして観光客にPRするためにも、国道3号沿いに案内看板の整備を行う。

事業主体 / 湯の里日奈久振興会

活用案としては、種田山頭火に関するギャラリーや「九月は日奈久で山頭火」イベントの観光スポットとして活用できる。

活用候補主体 / 九月は日奈久で山頭火実行委員会

現況(織屋)



整備イメージ:ギャラリーなど

参照(大分県豊後高田市昭和ロマン蔵)



) その他の整備

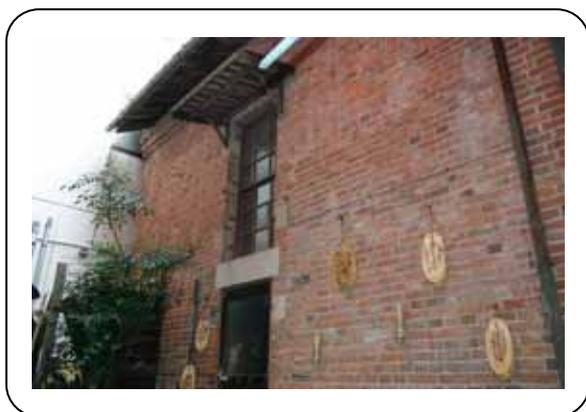
JA 倉庫・織屋一帯は、日奈久地域観光の拠点として、駐車場及び飲食施設を併設する形で整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、「九月は日奈久で山頭火」イベント等を開催する際のメイン会場や多目的施設として活用することができる。

活用候補主体 / 湯の里日奈久振興会

現況(レンガ倉庫)



整備イメージ:コンサートホールなど  
参照(玉名市・高瀬蔵)



現況(JA 倉庫周辺)



整備イメージ:物販施設を併設した多目的ホール  
参照(玉名市・高瀬蔵)



## b) 温泉センターの核施設化

温泉センターは、日奈久地域観光のシンボルとして、薩摩街道と一体的な修景整備の一つとして、現在の場所に昔の本湯をイメージして建替え、新たに露天風呂等や駐車場の整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、各旅館と温泉センターがセットで入浴できるようにする等、各旅館と温泉センターが連携することで観光客等に対する新たなサービスの提供をすることができる。

活用候補主体 / 日奈久温泉旅館組合

現況(日奈久温泉センター)



整備イメージ: 昔の本湯を基準にする  
参照(愛媛県道後温泉)



## 歴史の漂う景観づくり

### a) 薩摩街道一帯の整備

薩摩街道一帯の整備は、中通や縦通を含め歴史的な雰囲気を保存するために、住民の理解を得た上で景観条例を策定し、街なみ環境整備事業等に基づき個人住宅にも国等の補助を積極的に導入して、修景整備を行い活用を図る。ただし、景観条例の策定にあたっては、住民個人の自由が制限される面もあるため、行政と住民と一緒に勉強会等を開催し、意見交換をしながら策定する必要がある。

- ・道路の石畳化 事業主体 / 八代市(土木建設課)
- ・景観条例に基づく住宅整備 事業主体 / 住民個人
- ・薩摩街道の出入口に案内板の設置 事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、歩行者専用道（土日限定）や沿道の商店の作業場を見せる形で住宅を改造する等を行い、歴史的な雰囲気演出した上で、散策ルートとして活用することができる。

活用候補主体 / 湯の里日奈久振興会

現況(薩摩街道)



整備イメージ:時代を統一した景観とする  
参照(大分県日田市豆田町)



現況(薩摩街道)



整備イメージ:時代を統一した景観とする  
参照(大分県日田市豆田町)



b) 縦通一帯の整備

縦通一帯の整備は、道路の拡幅はせず石畳化や街灯を整備し、薩摩街道や中通と一帯的な修景整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(土木建設課)

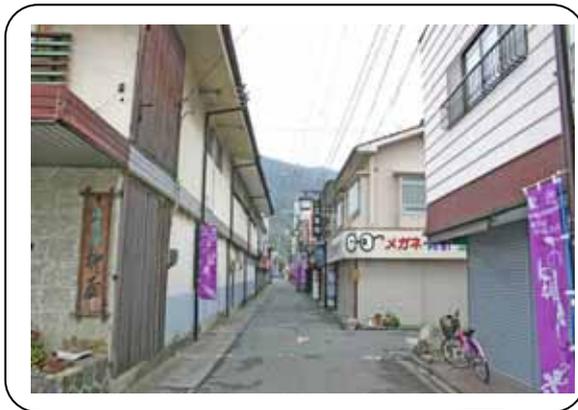
縦通は、国道3号から温泉神社へ通じるルートとなることから、温泉神社への案内看板の設置や湯煙が漂う温泉地の雰囲気づくりを行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(商政観光課)

活用案としては、歩行者優先道や沿道の空き店舗を利用したチャレンジショップや総合案内所として活用することができる。

活用候補主体 / 湯の里日奈久振興会

現況(縦通り)



整備イメージ:時代を統一した景観とする  
参照(大分県日田市豆田町)



現況(縦通り)



整備イメージ:時代を統一した景観とする  
参照(大分県日田市豆田町)



### c) 中通一帯の整備

中通一帯の整備は、道路の石畳化や街灯を整備し、薩摩街道や縦通と一帯的な修景整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(土木建設課)

活用案として、歩行者優先道や薩摩街道・縦通と結んだ散策ルートとして活用することができる。

活用候補主体 / 湯の里日奈久振興会

#### 現況(中通り)



整備イメージ:時代を統一した景観とする  
参照(大分県日田市豆田町)



## (2) ソフト事業

ソフト事業の実施にあたっては、地元住民や地元各団体が一体となって、連携して取り組むべきであり、そのためには、まず、日奈久住民がどういう日奈久にしたいという議論を重ね、その結果に基づき、日奈久地域全体で協力しながら、早急に各事業を実施していく必要がある。

なお、優先すべき事業として、すぐにでも実施できる事業が多ことから、「事業主体」と「連携先」が協力し、順次、早急に取り組む必要がある。

## 日奈久地域の体制づくり

### a) 日奈久地域の将来ビジョンの検討

これまでのソフト事業が実施されていない理由の一つとして、日奈久地域に住民のコンセンサスを得た将来ビジョンがなかったことが挙げられる。

このようなことから、地元住民と地元各団体が日奈久の将来ビジョン等について意見交換ができる場として、「まちづくり連絡協議会(仮称)」的な組織を、早急に地元住民で自発的に設置する必要がある。

また、行政は、連絡協議会(仮称)を設置するうえで必要な支援・協力を早急に取り組んでいく必要がある。

事業主体 / 日奈久総社教

連携先 / 八代市(企画調整課)

## おもてなしのサービスとくつろぎのある街づくり

### a) 接遇の改革向上

#### ) 商業施設のおもてなし

来客者の立場に立ったサービスの徹底を行う必要があることから、温泉旅館や観光施設の接遇の向上を目的として、従業員等の接遇研修の強化を行い、接客に対する意識改革を行うことが必要である。

事業主体 / 八代よかところ宣伝隊

連携先 / 湯の里日奈久振興会

平成16年度八代観光協会主催の接遇研修会



) 日奈久地域でのおもてなし

八代地域の観光拠点として、日奈久地域全体での接客を意識して行う必要がある。来客者を日奈久地域全体でもてなす意識を持ち、またその気持ちを表すために、日奈久総社教を中心とした各団体が連携を強化し、挨拶運動、花いっぱい運動、クリーン作戦等を実施していく必要がある。

事業主体 / 日奈久総社教

連携先 / 湯の里日奈久振興会

b) 料理対策

来客された人に満足していただくために、季節を感じさせるような四季折々の食事や地元の新鮮な魚介類や農産物等を利用した名物料理を創作し提供することが必要である。

事業主体

/ 日奈久温泉旅館組合

連携先 /

八代よかところ宣伝隊

平成17年度

日奈久トコトコ散策ツアーの

日奈久御膳(昼食)



日奈久温泉の魅力を広く情報発信できるPRづくり

a) PR方法の検討

日奈久地域の魅力やイベント情報などを全国的に発信できるよう、ホームページの活用を図る必要がある。

事業主体 / 八代よかところ宣伝隊

連携先 / 湯の里日奈久振興会

来客者に対して非日常的な雰囲気を提供することを目的として、日奈久温泉街全体で提灯等を掲げ、夜の街並み散策の魅力アップを図る必要がある。

事業主体 / 湯の里日奈久振興会

連携先 / 日奈久総社教

現在、実施されている日奈久まちなみガイドの内容の充実や日奈久地域全体を視野に入れた新たな散策コースの設定を行い来客者にアピールする必要がある。

事業主体 / 日奈久温泉案内人の会  
連携先 / 八代よかところ宣伝隊

平成17年度

九月は日奈久で山頭火前夜祭  
(日奈久町並みウォッチング)



#### b) イベント事業計画

現在、日奈久地域で実施されている「九月は日奈久で山頭火」、「十五夜綱引き」等のイベントの更なる内容の充実や新たなイベントの企画立案を行い、地域住民が一体となって取組み、さらに来客者も参加出来るようなイベントを実施する必要がある。

事業主体 / 湯の里日奈久振興会  
連携先 / 八代よかところ宣伝隊



第2回割り勘コンサートの模様

平成18年2月18日金波楼

平成16年度  
日奈久温泉スプリングフェスタ  
マラソン大会



## 観光ルートの中の日奈久温泉の位置付け

### a) 観光ルートへの位置付け

観光漁業の利用者を宿泊客に結びつける等、日奈久地域の農業者や漁業者及び旅館業者が連携・協力し、来客者に楽しんでいただくような体験型観光プランを実施する必要がある。

事業主体 / 湯の里日奈久振興会

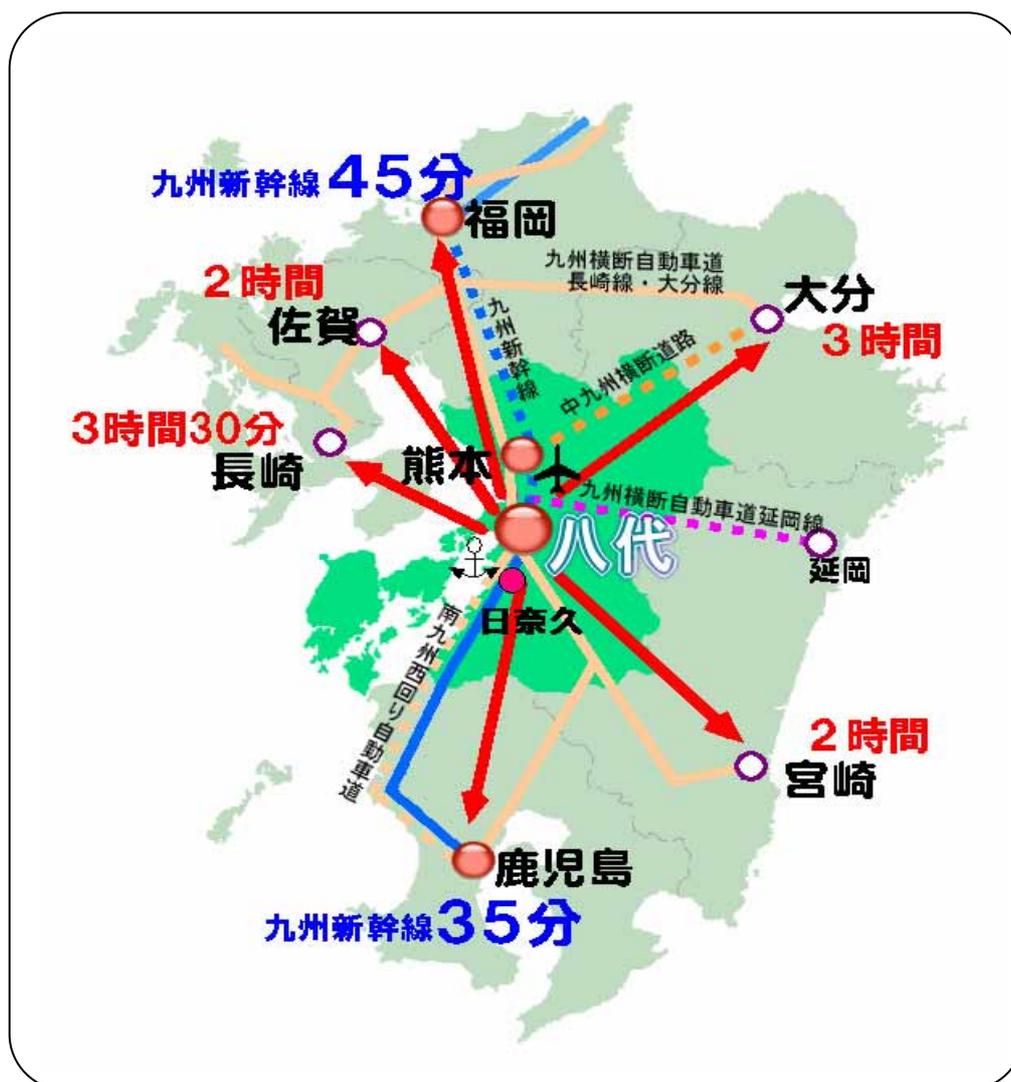
連携先 / 八代よかところ宣伝隊

日奈久地域を終日楽しんでいただけるような受入態勢の整備や近隣町村と連携した観光ルートの設定、八代地域の観光戦略の中での位置付け、観光マップの作成、観光客本位の情報提供方法等を考える必要がある。

事業主体 / 八代よかところ宣伝隊

連携先 / 八代市(商政観光課)

### 日奈久までの交通アクセス



### (3) その他事業

#### 日奈久の全体的土地利用

(P21「日奈久地域活性化事業(案)配置図/ハード事業等」参照)

#### a) 日奈久埋立地の土地利用

日奈久埋立地の土地利用については、イベントやスポーツに活用できる広場の整備等、一日中遊べる場所が欲しいというような市民の声がある。一方、埋立地は企業誘致や住居用地の確保を目的に造成された経緯がある。

いずれにせよ、埋立地は日奈久地域の活性化に資する目的に活用されなければならない。例えば、市が何らかの施設整備を行う場合、土地の所有者である八代市土地開発公社から土地を購入し整備することになり、現在の市の財政状況では厳しいという課題がある。

このようなことから、十分に議論された住民の総意のもと決定された日奈久地域の将来像を踏まえた企業の誘致や施設整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(企画調整課)・民間事業者

#### b) 芦北干拓の土地利用

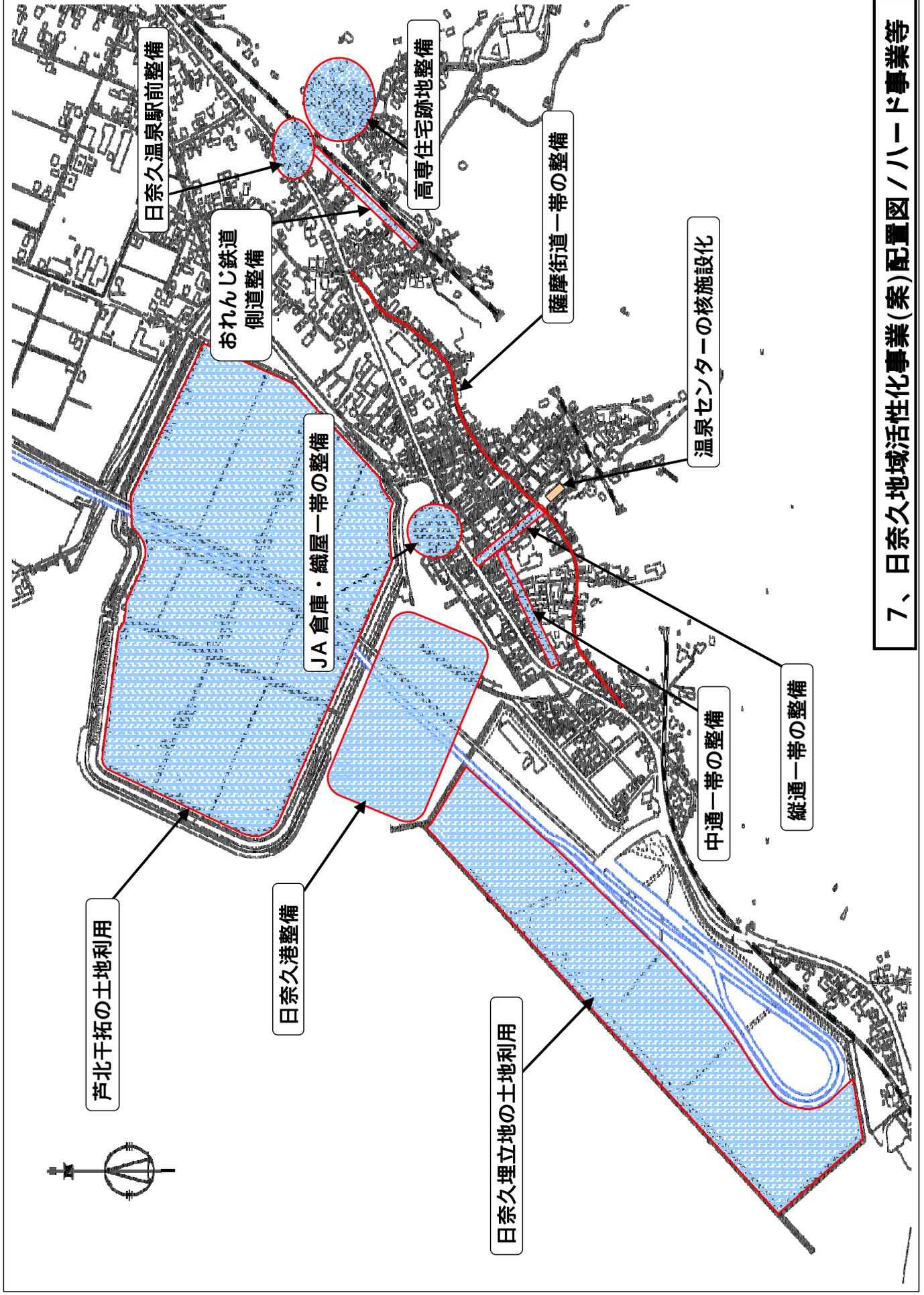
芦北干拓の土地利用については、現在、注目されている体験型の観光を実施するためにも、観光農園や体験農場として整備を行い活用を図る。

事業主体 / 八代市(企画調整課)・民間事業者

#### c) 高専住宅跡地整備

高専住宅跡地は、国道3号や日奈久温泉駅へのアクセスを整備することで交通の利便性を確保し、高齢者や身障者を対象とした分譲住宅地として整備を行い活用を図る。

事業主体 / 熊本県・八代市(企画調整課)



7、日奈久地域活性化事業(案)配置図ノハード事業等

## 8、日奈久地域活性化事業(案)一覧表

### (1)ハード事業

基本項目	検討事項	事業メニュー	事業主体	目標	活用案	活用候補主体	備考
日奈久温泉へのアクセス	a) おれんじ鉄道側道整備	駅からの線路沿いに歩道として側道を整備	八代市(商政観光課)	短期	・人力車や馬車の運行	湯の里日奈久振興会	優先実施事業
	b) 日奈久温泉駅前整備	駅舎をJR開通当時の姿に改修	肥薩おれんじ鉄道八代市(企画調整課)	中長期	・駅前をイベント広場	NPO法人ネット八代	
		・トイレの改修	肥薩おれんじ鉄道八代市(企画調整課)	短期	・駅舎は、喫茶休憩所及び案内所	NPO法人ネット八代	
日奈久港整備	c) 日奈久港整備	・駅舎に観光案内所を設置	八代市(商政観光課)	中長期			
		・散策道の整備	八代市(土木建設課)	中長期	・海上交通の運航	湯の里日奈久振興会	
		・旅客船等の通航可能な港整備	八代市(土木建設課)	中長期	・朝市の開催(海産物の販売拠点)	湯の里日奈久振興会	
日奈久温泉のシンボルづくり	a) JA倉庫 織屋一帯の整備	( )JA倉庫の整備					優先実施事業
		・歴史的に価値があるので、修復し、活用	八代市(商政観光課)	短期	・博物館、展示場、ギャラリー、資料館	湯の里日奈久振興会	
		・多目的ホールとして、ステージなどを整備	八代市(商政観光課)	短期	・物産館、レストラン、多目的ホール	湯の里日奈久振興会	
		・物産館や軽食ができるよう整備	八代市(商政観光課)	短期			
		( )織屋の整備					優先実施事業
		・歴史的に貴重であり、そのまま保存	八代市(商政観光課)	短期	・山頭火に関する展示場やギャラリー	山頭火実行委員会	
		・国道3号からの入口の整備	八代市(商政観光課)	短期			
		・国道3号沿いに案内看板の設置	湯の里日奈久振興会	短期			
		( )その他の整備					優先実施事業
		・現駐車場部分に、物産館を整備	八代市(商政観光課)	短期	・一帯はイベント開催する際のメイン会場	湯の里日奈久振興会	
歴史の漂う景観づくり	a) 薩摩街道一帯の整備	・レンガ倉庫を、喫茶店として整備	八代市(商政観光課)	短期			
		・温泉センターを建て替えて、昔の本湯の姿に復活	八代市(商政観光課)	中長期	・入浴方法を指導(指南役の設置)	日奈久温泉旅館組合	優先実施事業
	b) 縦通一帯の整備	・薩摩街道など一体的な修景整備	八代市(商政観光課)	中長期	・温泉施設の共有化(各旅館と連携)	日奈久温泉旅館組合	
		・露天風呂、駐車場の整備	八代市(商政観光課)	中長期			
	c) 中通一帯の整備	・道路の石畳化	八代市(土木建設課)	中長期	・歩行者専用の散策道(土日限定)	八代市(商政観光課)	
		・景観条例を基準とした住宅整備	住民個人	中長期	・沿道住宅に見せる作業場を集積	住民個人	
	d) 横通一帯の整備	・街道の出入口に案内板を設置	八代市(商政観光課)	短期			
		・薩摩街道と一体的な修景整備	八代市(土木建設課)	中長期	・歩行者優先道路	八代市(土木管理課)	
	e) 湯の里一帯の整備	・道路は拡幅せず修景整備(石畳化、灯りの整備)	八代市(土木建設課)	中長期	・空き店舗対策(チャレンジショップの実施)	湯の里日奈久振興会	
		・温泉神社への案内看板を設置	八代市(商政観光課)	短期	・空き店舗対策(総合案内所の設置)	湯の里日奈久振興会	
f) 湯の里一帯の整備	・温泉地として湯気が見えるような整備	八代市(商政観光課)	短期				
	・薩摩街道と一体的な修景整備	八代市(土木建設課)	中長期	・提灯を掲げて散策道(土日限定)	湯の里日奈久振興会		
g) 湯の里一帯の整備	・道路の石畳化、灯り、植栽の整備	八代市(土木建設課)	中長期	・一方通行などの交通体系の見直し	八代市(都市計画課)		

(2)ソフト事業

基本項目	検討事項	事業メニュー	目標	事業主体	連携先	備考		
日奈久地域の体制づくり	a) 日奈久地域の将来ビジョンの検討	・地元住民による日奈久地域のまちづくり委員会(仮称)の設立	短期	日奈久総社教	八代市(企画調整課)	優先実施事業		
おもてなしのサービスとくつろぎのある街づくり	a) 接遇の改革向上	・接遇研修の強化	短期	八代よかとこ宣伝隊	湯の里日奈久振興会			
		・従業員の接遇の向上	短期	八代よかとこ宣伝隊	湯の里日奈久振興会			
		・経営者、従業員の意識改革が必要	短期	八代よかとこ宣伝隊	湯の里日奈久振興会			
		・地域のおもてなし運動(挨拶運動、花いっぱい運動、クリーン作戦等)	短期	日奈久総社教	湯の里日奈久振興会	優先実施事業		
		・地域の連携(総社教や小中学校との連携等)	短期	日奈久総社教	湯の里日奈久振興会	優先実施事業		
		・季節に応じた食事の検討	短期	日奈久温泉旅館組合	八代よかとこ宣伝隊	優先実施事業		
		・八代の名店を利用した選べる夕食の検討	短期	日奈久温泉旅館組合	八代よかとこ宣伝隊			
		・名物料理の創作	短期	日奈久温泉旅館組合	八代よかとこ宣伝隊	優先実施事業		
		・ホームページの活用	短期	八代よかとこ宣伝隊	湯の里日奈久振興会			
		・まちなみガイドの利用(散策コースの設定/温泉街,農村部)	短期	日奈久温泉案内人の会	八代よかとこ宣伝隊			
日奈久温泉の魅力を広く情報発信できるPRづくり	a) PR方法の検討	・夜町並みを歩くときに提灯等の利用	中長期	湯の里日奈久振興会	日奈久総社教			
		・数種類のお部屋と数種類の料理の組合せ	中長期	日奈久温泉旅館組合	八代よかとこ宣伝隊			
		・チャレンジ旅館の実施	中長期	日奈久温泉旅館組合	湯の里日奈久振興会			
		・PRイベント実施(浴衣ファッションショー、シンポジウム等)	短期	湯の里日奈久振興会	八代よかとこ宣伝隊			
		・地域一体で取り組むイベントの実施(十五夜綱引き等)	短期	日奈久総社教	湯の里日奈久振興会	優先実施事業		
		観光ルートのなかの日奈久温泉の位置付け	c) 観光ルートに位置付ける	・観光漁業の利用者を宿泊客として結びつけるような観光ルートの設定	短期	湯の里日奈久振興会	八代市(商政観光課)	
				・漁業、農業の生産者との共存を行なう	短期	湯の里日奈久振興会	八代市(商政観光課)	
				・中高年の女性をターゲットにした観光戦略	短期	湯の里日奈久振興会	八代よかとこ宣伝隊	
				・高田焼き、ニッケ玉、味噌、ちくわ等の体験観光	短期	湯の里日奈久振興会	八代よかとこ宣伝隊	
				・観光マップの作成	短期	八代よかとこ宣伝隊	八代市(商政観光課)	
・二見ゴルフ場とのゴルフパック	短期			湯の里日奈久振興会	八代よかとこ宣伝隊			

(3) その他事業

基本項目	検討事項	事業メニュー	事業主体	目標	活用法	活用候補主体	備考	
日奈久の全体的土地利用	a) 日奈久埋立地の土地利用	・JRA用地として整備	日本中央競馬会	短期				
		・宿泊施設及び合宿施設を整備	民間・八代市	中長期				
		・グラウンド等のスポーツ公園として整備	八代市 (スポーツ振興課)	中長期				
		・ショッピングモールの誘致	民間・八代市	中長期				
		・海洋レジャー用地として整備	民間・八代市	中長期				
	b) 芦北干拓の土地利用	・高齢者用住宅用地として整備	民間・八代市	民間・八代市	中長期			
		・観光農園や体験農場として整備	民間・八代市	民間・八代市	中長期			
		・分譲住宅地として整備	民間・八代市	民間・八代市	中長期			
	c) 高専住宅跡地整備	・国道3号までのアクセスの整備	熊本県・八代市	熊本県・八代市	中長期			

# 9、日奈久地域活性化優先実施事業(案)一覽表

## (1)ハード事業

基本項目	検討事項	計 画 年 度					事業主体	目 標	備 考
		H18	H19	H20	H21	H22以降			
日奈久温泉へのアクセス	a) おれんじ鉄道側道整備	基本構想	基本・実施設計	工事			八代市(商政観光課)	短期	優先実施事業
	b) 日奈久温泉駅前整備			工事		基本構想	肥後おれんじ鉄道八代市(企画調整課)	中長期	
	c) 日奈久港整備						八代市(土木建設課)	中長期	
日奈久温泉のシンボルづくり	a) JA倉庫・織屋一帯の整備	基本構想	基本・実施設計	工事			八代市(商政観光課)	短期	優先実施事業
	b) 温泉センターの核施設化	基本構想	基本・実施設計	工事			八代市(商政観光課)	短期	優先実施事業
歴史の漂う景観づくり	a) 薩摩街道一帯の整備			基本構想		基本・実施設計	八代市(土木建設課)	中長期	
	b) 縦通一帯の整備			基本構想		基本・実施設計	八代市(土木建設課)	中長期	
	c) 中通一帯の整備			基本構想		基本・実施設計	八代市(土木建設課)	中長期	

## (2)ソフト事業

基本項目	検討事項	計 画 年 度					事業主体	目 標	備 考
		H18	H19	H20	H21	H22以降			
日奈久地域の体づくり	a) 日奈久地域の将来ビジョンの検討	行動プラン策定・着手					日奈久総社教	短期	優先実施事業
	a) 接遇の改革向上	行動プラン策定・着手					日奈久総社教	短期	優先実施事業
	c) 料理対策	行動プラン策定・着手					日奈久温泉旅館組合	短期	優先実施事業
日奈久温泉の魅力を広く発信できるPRづくり	a) PR方法の検討						八代よかこと宣伝隊	短期	
	b) イベント事業計画	行動プラン策定・着手					日奈久総社教	短期	優先実施事業
観光ルートでの位置付け	a) 観光ルートに位置付ける	行動プラン策定・着手					湯の里日奈久振興会	短期	

## (3)その他事業

基本項目	検討事項	計 画 年 度					事業主体	目 標	備 考
		H18	H19	H20	H21	H22以降			
日奈久の全体的土地利用	a) 日奈久埋立地の土地利用	基本構想		基本・実施設計	工事		民間・八代市	短期	
	b) 芦北干拓の土地利用					基本構想	民間・八代市	中長期	